



さかた アートアカデミー

SAKATA Art Academy

～公共文化施設とわたし～

受講生
募集

公共ホールや美術館はどんなところ？

わたしたちを取り巻く環境、社会、地域、教育
などが大きく変化中、地域の公共ホールや
美術館ができることはどんなことでしょうか。
様々な分野から講師を招き、アートの現場が
社会とどう関わっているのか、その役割と
可能性について、一緒に考えてみませんか？

対象

- 文化施設、公共施設に関わる方、アートマネジメントに興味・関心のある18歳以上の方
- 原則として全6回の講座を全て受講できる方

受講料

無料

申込方法

裏面の応募用紙に必要事項を記入の上、希望ホール（酒田市民会館）の窓口へ、持参・郵送・メール（art@city.sakata.lg.jp）にて。

※応募用紙は希望ホールのホームページからもダウンロード可。

定員

30名（定員に達した場合は、書類選考）

申込締切

7月8日（金）必着

その他

参加にかかる交通・宿泊費のお支払いはありません。

新型コロナウイルス感染対策について

- 当日、37.5℃以上の発熱、咳、咽頭痛のある方はご参加いただけません。
- ワクチン接種がお済みの方も、当日のマスク着用をお願いします。着用がない場合はご参加をお断りする場合があります。
- 参加者の中から新型コロナウイルス感染が確認された場合、保健所の聞き取り調査にご協力いただく場合があります。

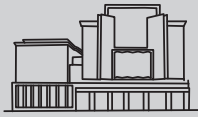
SCHEDULE

- 第1回 「芸術とまちと～芸術文化は、まちや教育とどう関わっているのか」
日時 8月9日（火）19：00開始（21：00終了予定）
会場 希望ホール（酒田市民会館）大ホール
講師 平田オリザ（劇作家・演出家・青年団主宰、芸術文化観光専門職大学学長）
- 第2回 「公共文化施設の役割～教育普及の取り組みから学ぶ」
日時 9月20日（火）19：00開始（21：00終了予定）
会場 ミライニ（酒田駅前交流拠点施設）研修室
講師 会田大也（山口情報芸術センター〔YCAM〕学芸普及課長）
- 第3回 「公共文化施設とわたし～体験から学ぶ」
日時 10月1日（土）10：00開始（15：30終了予定）
会場 希望ホール（酒田市民会館）大ホール、他
講師 セレノグラフィカ（ダンスカンパニー/隅地茉歩、阿比留修一）
黒岩宏美（ブルーベリーガーデン黒岩 経営）
- 第4回 「公共文化施設の役割～アウトリーチの取り組みを知る」
日時 10月12日（水）19：00開始（21：00終了予定）
会場 希望ホール（酒田市民会館）小ホール
講師 小澤櫻作
（上田市交流文化芸術センタープロデューサー、竹田市総合文化ホールチーフプロデューサー）
- 第5回 「公共文化施設の役割～情報発信の在り方と取り組みから学ぶ」
日時 10月30日（日）10：00開始（13：00終了予定）
会場 希望ホール（酒田市民会館）小ホール
講師 森隆一郎（合同会社渚と代表、元アーツカウンシル東京 PR ディレクター）
- 第6回 「公共文化施設とわたし～体験から学ぶ2」
日時 11月20日（日）10：00開始（15：30終了予定）
会場 希望ホール（酒田市民会館）大ホール、他
講師 南部充央（一般社団法人日本障害者舞台芸術協働機構（JDPA）代表理事）
古本幸（若年性パーキンソン病当事者、イラストレーター）

ACCESS

- 日本海東北自動車道
「酒田中央IC」から車で約10分
- JR 酒田駅から
・庄内交通バス〔中町〕下車徒歩約2分
・るるんバス（酒田市乗合バス）〔中町西〕下車徒歩約2分
・タクシーで約5分
・徒歩約18分
- 羽田空港→庄内空港から
・庄内空港連絡バス〔市役所前〕下車すぐ
・タクシーで約20分





さかた アートアカデミー

SAKATA Art Academy

～公共文化施設とわたし～

CONTENTS

第1回 「芸術とまちと～芸術文化は、まちや教育とどう関わっているのか」

教育や観光、まちづくりなど、実は私達の生活と身近なところで深く関わっている「芸術」。
劇作家で、芸術文化観光専門職大学学長の平田オリザ氏から、自身が移住した豊岡市や、実際の教育現場での事例、国の施策に至るまで、芸術を取り巻く環境、その変化と可能性についてお話いただきます。

第2回 「公共文化施設の役割～教育普及の取り組みから学ぶ」

「教育普及」と聞くと難しい印象を持つかもしれませんが、子どもたちの想像力や創造力を育むためのアソビの提案として、全国の美術館などで様々な取り組みが行われている「教育普及プログラム」。
ミュージアム・エデュケーターとして、数多くの教育普及プログラムに携わってきた会田大也氏から、全国の事例を基に、教育普及の重要性と可能性についてお話いただきます。

第3回 「公共文化施設とわたし～体験から学ぶ」

ダンスには多様性や寛容性を育む力があり、2012年には中学校でダンスが必修化され、小学校の指導要領に「運動表現」が導入されるなど、教育の現場にダンスが組み込まれています。
全国各地の劇場などで作品創作やワークショップを数多く行っているダンスカンパニー・セレノグラフィカのお二人と一緒に、公共ホールの現状と可能性について、ダンスワークショップを通じて考えてみましょう。

第4回 「公共文化施設の役割～アウトリーチの取り組みを知る」

「アウトリーチ」は、様々な地域や生活環境の垣根を越えて、幅広い対象に芸術を届ける取り組みとして、全国の多くのホールで実施されている活動です。全国の公共ホールで数多くのアウトリーチ事業に携わってきた小澤櫻作氏から、公共ホールとアウトリーチの可能性についてお話いただきます。

第5回 「公共文化施設の役割～情報発信の在り方と取り組みから学ぶ」

公共文化施設の役割には、「文化の発信拠点」としての役割もあります。地域の特性や課題、ビジョンに対して、公共文化施設が地域との関係性をどの様につくり、地域内外へどう伝えていく必要があるのか。
元アーツカウンシル東京PRディレクターで、全国の公共ホールなどの取り組みに精通する森隆一郎氏と一緒にグループディスカッションなども交えて、みんなで考えてみます。

第6回 「公共文化施設とわたし～体験から学ぶ2」

公共ホールや美術館は誰もが楽しめる場所です。しかし、本当にそうでしょうか。また、公共ホールや美術館はすべての人にやさしい場所でしょうか。「遠い」「交通の便が悪い」など、そもそも公共ホールや美術館に行くことが大変という方もいます。バリアフリーイベントの豊富な実績を持つ南部充央氏による実技講習と、若年性パーキンソン病当事者による実体験を通じて、公共文化施設とアクセシビリティについて考えます。

参加応募用紙

申込日 _____年 _____月 _____日

ふりがな
氏名 _____

男性 ・ 女性（任意）

職業 _____ 歳 _____

住所 〒 _____

電話番号1 _____ 電話番号2 _____
(携帯などの連絡がつきやすい番号) (自宅など)

メールアドレス _____

受信設定をしている方は、「@city.sakata.lg.jp」からのメールを受信できるように設定してください
※ご記入いただいた個人情報は本アカデミーに関するご連絡にのみ使用させていただきます

応募の動機 このアカデミーで学びたいこと、知りたいことなど

文化・芸術活動についてのこれまでの関わり
特にない場合は空欄で構いません。書ききれない場合は別紙可。

事務局使用欄 受付日 _____月 _____日 登録番号 _____

お問い合わせ・お申し込み



〒998-0043 山形県酒田市本町二丁目2番10号 希望ホール（酒田市民会館） 担当：加藤
TEL 0234-26-5450 <https://kibou-hall.sakata.yamagata.jp>
mail art@city.sakata.lg.jp
休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）